



# 元気っ子

No211 ながさわ保育園

園長

市川 温 予

寒い日が続いたと思えば、寒さが緩んで暖かい日もあります。まさに「三寒四温」を繰り返しながら一步一步季節は春に移り変わっていくのでしょうか。少しずつ近づいている春が待ち遠しいですね。

平成26年度の大きな行事、お遊戯会も無事に終わることができました。保護者の方には朝早くから並んでいただいたり、衣装等いろいろとご協力をいただきありがとうございました。また、感想もたくさんいただき、私達にとって嬉しくまた、励みになりました。

2歳児をはじめ、まだ生まれてたった数年の子ども達が大きな舞台上でそして、たくさんのお客さんの前で本当によく頑張ったと思います。堂々としている子もいれば、恥ずかしそうにしている子、お家の方を探してにこっと、笑う子、手を振ったりしている子と色々な姿がありました。私は毎年、陰マイクを担当しているので、子ども達が舞台にでる前によく会話をし

ます。「緊張してきたー。」「なんかドキドキしてきた。」という子や「大丈夫。ママがどこにおるか探すわ。頑張るわ。」という子、また小さい子と一緒に「頑張ろうなあ。」と大きい子がリードしている姿もありました。小さい子が大きい子に頼ったり、大きい子に身をまかせて安心したり、また逆に小さい子がいることで大きい子も頑張る力が出たりとお互いにいい関係だなと思いました。毎日の生活の積み重ねの中でのいろいろな子ども達の育ちあいが劇やダンスにもでていたと思います。

お家の方にほめられることが子ども達にとって一番嬉しいことだし、それが直接子どもの中に取り込まれ、心が優しく強く成長していくバネになっていくのだと思います。

先月の各クラスの目標であった“ひとつの目標に向けてみんなで協力し取り組むことで達成感をもつ”ということがどのクラスも達成できていたと思います。

お遊戯会を経験し、子ども達がひとまわり大きく成長したように思います。



26年度の保育も残りわずかです。ライオン組は卒園や就学に向けて、また他のクラスは進級に向けての準備をしていきたいと思っています。特にりす組は2階から1階のうさぎ組に、うさぎ組は異年齢クラスへと住環境が変わります。担任、部屋、友達が変わり、環境に戸惑ったりする子もいますので、3月は緩やかな移行期間として、少しずつ新しい環境に馴染んでいけるようにしていきたいと思っています。